

議会だより

や ま と

山都

第35号

熊本県山都町議会

2020.2
12月定例会



「清和文楽、見に来て下さい!」

練習・上演を通して日本の伝統芸能を肌で学ぶ、清和小学校の児童たち。

12月定例会

令和元年第4回定例会は、12月5日に開会し、11日に閉会しました。条例4件、補正予算6件及びその他2件などを審議しました。

一般会計補正予算(第4号)

令和元年度一般会計補正予算は、1億1,900万円を増額し、総額を149億2,900万円としました。主な内容は次のとおりです。

【総務費】

(戸籍住民登録費)

- ・印鑑登録システム改修委託料

91万円

【衛生費】

(環境衛生費)

- ・浄化槽設置整備事業補助金など

680万円

- ・簡易水道特別会計繰出金など

321万円

【農林水産業費】

(農政費)

- ・農業用ハウス強靱化緊急対策事業費補助金など

182万円

(林業振興費)

- ・森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会負担金

80万円

【商工費】

(観光費)

- ・観光情報発信業務委託料

402万円

※通潤橋放水再開を年度内にPRする必要がある。

(観光施設費)

- ・そよ風パーク施設運営アドバイザー委託料
- ・猿ヶ城キャンプ村侵入路安全対策工事
(令和2年4月再開の予定)

468万円

(山の都づくり事業費)

- ・移住定住支援拠点施設改修工事
- ・家屋購入費(上寺地区にある旧矢部高教職員住宅を熊本県から購入し改修する)

230万円

※旧矢部高教職員住宅は2軒長屋となっており、山の都地域しごとセンターの事務所と、移住者の短期滞在用住宅として改修するもの。

【土木費】

(土木管理総務費)

- ・県工事負担金
- ・土砂災害特別地域内被災者住宅再建支援補助金

1,212万円

(道路維持費)

- ・重機借上料、道路維持工事、道路維持用原材料費

672万円

(住宅建設費)

- ・下市町有地測量委託料など

344万円

(木造仮設住宅移築事業費)

- ・住宅解体移築工事など

5,660万円

※熊本地震後に建設された木造仮設住宅を町内移築する。3棟、7戸。(県復興基金による事業)

【教育費】

(学校振興費)

- ・教師用教科書費、指導用教材費など

2,614万円

(体育施設費)

- ・立木伐採委託料(新体育館建設用地内)
- ・町営プール他解体工事(アスベスト対策追加工事)

2,084万円

【災害復旧費】

(現年度農業施設災害復旧費)

- ・測量設計委託費(67件)
- ・災害復旧費(4件)

4,750万円

(現年度林業施設災害復旧費)

- ・災害復旧費(久留見尾線)

670万円

(重要文化財災害復旧費)

- ・通潤橋災害復旧費
- ・設計監理費・報告書作成委託料

4,614万円



にしだ 西田 ゆみこ 議員

教職員の業務削減について具体的な対策はあるか

答 町雇用の教諭補助の確保に努めている。中学校の部活指導では、教職員の複数配置や、外部指導者の養成に取り組んでいる。

問 小・中学校における超過勤務について、県教委の令和元年9月の調査では、45時間以上残業した職員が全体の45・4%。過労死ラインとされる月80時間以上は13・8%であった。山都町ではどうか。

答 (学校教育課長) 令和元年10月に月45時間以上残業した教職員は全体の67%うち、特例とされる月80時間以上が18%であった。

問 小中学校では、児童生徒の虫歯予防のためとして、週に1回、フッ化ナトリウムの原液を薄めたものでうがいさせる集団フッ化物洗口事業が行われているが、事業の主体はどこか。

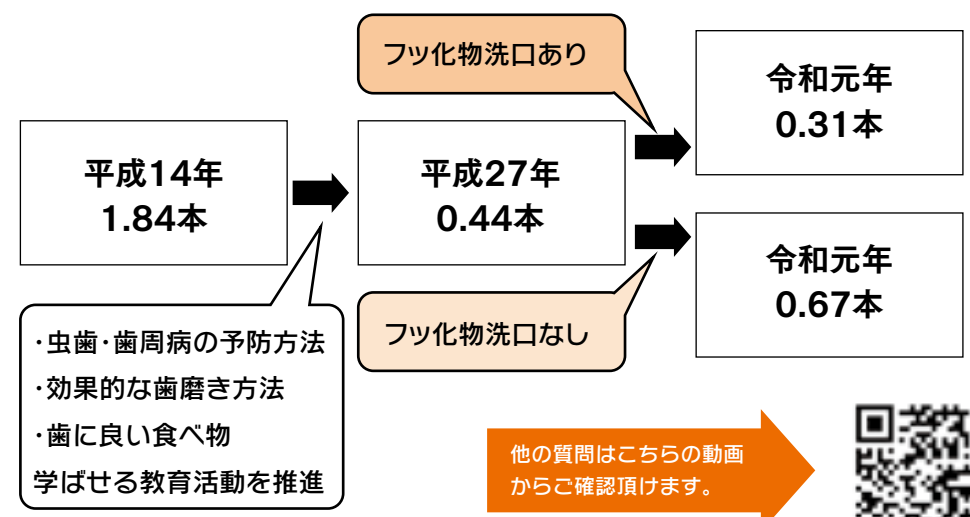
答 (学校教育課長) 実施主体は、山都町及び山都町教育委員会。業務は、教育委員会・学校・町保健師の3者の分担。フッ化物洗口液を作る作業を教育委員会職員が、洗口液を紙コップに注ぐ作業及び児童生徒のうがい指導を、学校の教職員が行い、町保健師が適宜アドバイスをしている。

問 フッ化ナトリウム濃度を間違えない事や、これを望まない児童生徒には実施しない等、神経を使う作業を毎週行う事は、教職員への負担が大

答 (学校教育課長) きい。負担軽減のためにこの事業は取りやめるべきではないか。

問 フッ化物洗口は、熊本県教育委員会からの通達で、市町村、関係部局、教職員及び学校歯科医等が連携・協力し、保護者の理解を得ながら、安全に実施するよう依頼を受けている。希望の有無は、教育委員会が把握しており、安全性についても、WHOや厚生省など専門機関が認めている。今後関係団体と連携し、情報の収集に努め、正確な判断、適切な対応で子供たちの健康確保に努めたい。

子ども達の永久歯虫歯保有本数の推移



答 (学校教育課長) 児童生徒への教育の充実と、教職員の業務削減の観点から、町雇用の教諭補助の確保に努めている。中学校の部活指導では、教職員の複数配置や、外部指導者の養成に取り組んでいる。

他の質問はこちらの動画からご確認ください。

なぜ、学力水準の維持向上を目指すのか

答 義務教育における各教科の定着は、児童生徒自らの可能性を高め、よりよく生きる力を得る事につながるからである。



まはら まこと 議員
眞原 誠

問 文科省では、教育において学力水準の維持向上を目指しており、それは山都町においても同様だと思いが、なぜ、それを目指すのか。

答 (教育長) 児童生徒は、将来の社会の担い手として活躍することが期待されており、義務教育における各教科の定着は、児童生徒自らの可能性を高め、よりよく生きる力を得る事につながるからである。

問 学力水準の維持向上を目指すために、

答 (教育長) 学校、教育委員会で、どのような取り組みを行っているか。

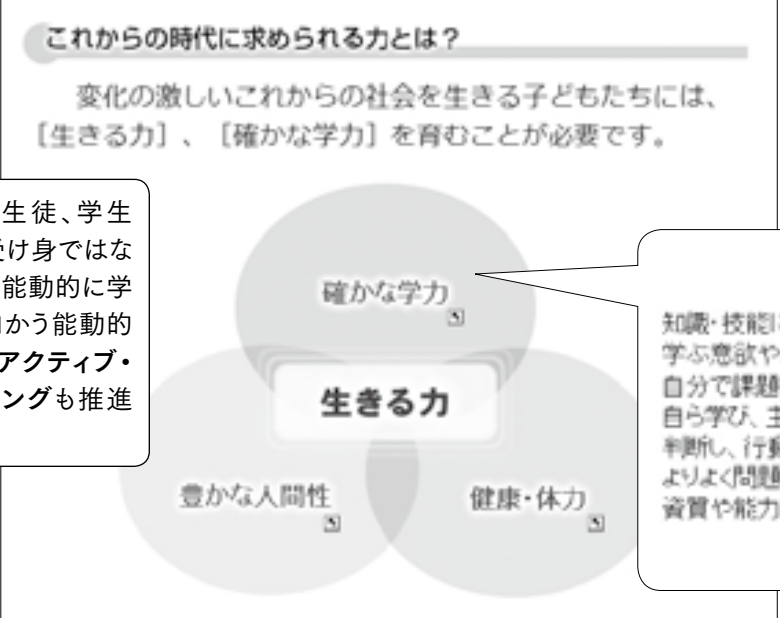
答 (教育長) 学校では、教師の指導力向上のため、各種研修会への参加や、校内研修での授業研究会を行っている。また、教育委員会は、予算措置による学校教育環境の整備充実が、一番の使命である。町単独で教諭補助の配置を行い、学校教育指導員による授業改善に向けた指導助言にも当たっている。

問 学力向上に向けた家庭との連携はどうか。

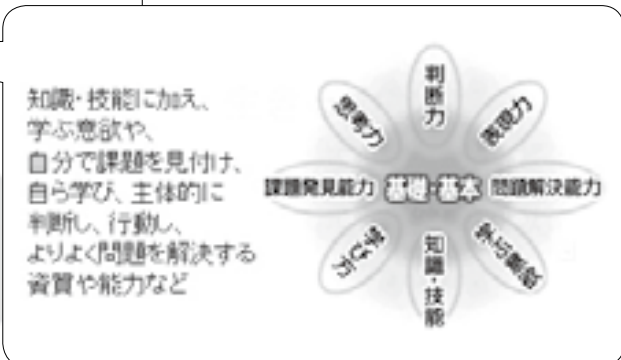
答 (教育長) 家庭や地域の力を学校教育に生かすという事は、今後ますます重要である。学校課題の共有、解決に向けた地域の教育

協力など、地域全体で、子供の学習や健全育成にかかわることが、豊かな育ちによりよい影響があると考えられており、地域に開かれた学校の取り組みが、今まさに全国で推進されている。家庭との連携では、家庭学習の定着や読書量の増加、学習活動に対する家族による励ましや承認ということが、学力向上に大きく関係する。

他の質問はこちらの動画からご確認頂けます。



児童、生徒、学生等が受け身ではなく、自ら能動的に学びに向かう能動的学習、アクティブ・ラーニングも推進される



山都町の小中学校における学力テストの結果は

答 全国平均や熊本県平均を上回っている年もあれば、下回っている年もある。ここ数年の傾向としては、概ね全国平均並みだ。



ひでのり 秀典 議員
やにた 矢仁田

問 山都町の小中学校における学力テストの結果は。

答 (学校教育課長)

例年4月に、小学6年生と中学3年生を対象にした全国学力・学習状況調査が行われている。山都町全体では、全国平均や熊本県平均を上回っている年もあれば、下回っている年もある。ここ数年の傾向としては、概ね全国平均並みだ。

問 学力向上には読書量が関係している。一方で、ゲーム時間が長いほど、学校や仕事の遅刻・欠席、家族

への暴力などの悪影響が出ていると聞く。ゲームの時間を少しでも読書に回すように、教育委員会が動くべきではないか。

答 (教育長)

山都町では、平成30年度に第三次山都町子ども読書活動推進計画を作成している。学校・地域・家庭・町立図書館・行政が連携して、子供たちの読書環境を整備していきたい。読書は、豊かな感性、表現力、創造力などを育む上で重要であり、結果として、読解力の向上や、学力テストの得点アップにもつながると期待している。

問 人権教育は今後どのように進めて行くか。

答 (学校教育課長)

部落差別は、まだ

完全解消には至っていない。全国で差別落書きや身元調査などの事案が発生しており、インターネットの差別書き込みは、目を覆うような状況。

また、部落差別以外に、障害者差別、外国人差別、いじめ等、さまざまな差別により、多くの人が悩み苦しんでおり、尊い命が奪われる事件も起きている。小

中学校での人権教育は、これまでと同和教育の成果を踏まえ、同和問題の解決を柱に、さまざまな差別の解消に努める学校同和教育を展開し

ており、今後もこの方針に沿って取り組んでいく。

問 近隣町村と比較すると、山都町の人権教育の予算額は大きいが、適正か。事業の効率化を進め、財源

不足で絞られている、他の教育関係予算に配分する事は考えられないか。

答 (総務課長)

現状分析や未来予測の上、最少限の経費で最大限の効果を発揮する予算を積算し、執行している。それぞれの地方自治体においては、地域の実情に応じた施策を行っており、適正な予算配分かどうかの比較は、各自自治体の条件や基準に照らし合わせねばならず、的確な回答はできない。



学校の図書室で本を選ぶ児童

他の質問はこちらの動画からご確認頂けます。



次年度の予算編成における主眼は何か

答 グランドデザイン内に、ほとんどの重点プロジェクトが含まれているので、それを進める。災害復旧は、来年度の工事完了を目指す。



よしかわ みか 議員
吉川 美加 議員

問 次年度の予算編成における主眼は何か。

答 (町長)

前年度からの重点プロジェクトを推進する。グランドデザイン内に、ほとんどの重点プロジェクトが含まれているので、それを進める。災害からの復旧復興は、本年度で予算措置が終わっており、来年度は工事の完了を目指す。

問 事業の見直し、PDC Aは、どのような取り組みをしているのか。

答 (企画政策課長)

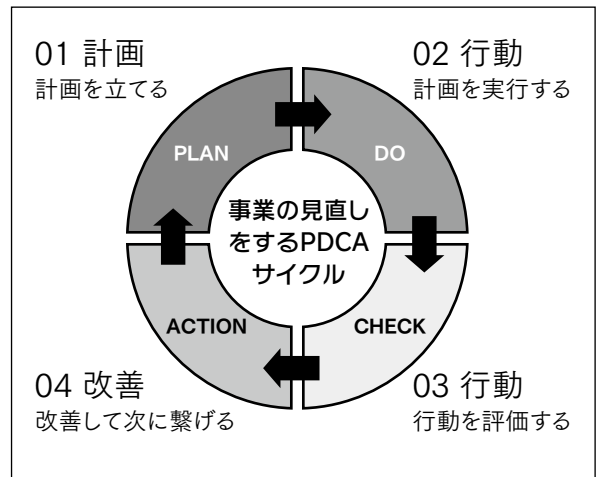
事業の目的及び役割が現状に即してい

るかを検証し、財源の効率的、効果的な活用につなげるため、平成30年度の事務事業評価を実施している。役割を終えた事業はないか、今のやり方で効果は得られているのか、見直し改善につなげるべく、422事業について評価。やり方改善・統廃合・連携・廃止と評価された事業は、各課ヒアリングしながら、具体的な対応を検討している。また、補助金の見直し、制度の廃止など、住民に直接関係する事業もあり、住民への説明を実施する。

問 病後児保育は利用度が低く、病児保育に取り組むべきではないか。

答 (福祉課長)

病後児保育は平成



生産技術における品質管理などの継続的改善手法。

Plan(計画)
↓
Do(実行)
↓
Check(評価)
↓
Act(改善)
の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。
(Wikipediaより引用)

29年9月から開始して、今年で3年目。登録者は、年々増加しており現在40名の保護者が登録。今後は、保護者のニーズを十分に把握し、関係機関との協議を重ねながら、病児・病後児保育のあり方を考えていく。

問 保護者ニーズを把握する具体的な方法は。

答 (福祉課長)
保護者へのアンケートを実施する。

問 新年度から始まる英語教育とプログラミングへの取り組みは。

現場支援の人員配置や、教師の研修、サ

問 ポート体制への予算立ては。

答 (学校教育課長)

新学習指導要領の準備のための予算として、国の補正予算の動向も見ながら、教職員の英語やICT研修等にかかる費用、英語やICT教育をサポートする支援員、また、町支援教諭の確保について検討を進めている。

他の質問はこちらの動画からご確認頂けます。



道の駅通潤橋を矢部インター出口付近に移設する計画があるが、その整備内容は



議員 伊 藤 重 昭
い づ ち じ げ あ き
か 甲

答 まだ移転か新規設置か決定していないが、どんなコンセプトで、どういう機能を持った道の駅にするのか、計画策定の受託事業者と協議を進めている。

問 九州中央道は、矢部・蘇陽間が計画段階評価対象区間となった。矢部インターの開通は、令和何年度と予測しているか。

答 (町長) 九州中央道の要望活動は、県と協議をしながら、国交省・財務省に行っており、蘇陽・五ヶ瀬間の早期事業化もお願いしている。矢部までは2年半後の開通を期待しており、今後陳情活動を進めていく。

問 清和地区の方々から、清和地区にインターを希望する要望書が提出されているが、国交省にはどのようにつないでいるか。

答 (町長) その点は、陳情のたぎに要望している。清和地区には選果場や製材工場があり、産業物流の観点からも、清和インターは必要。また、福岡・延岡間の高速バスの運行に対して、高速バスの停車場も要望している。

問 矢部・蘇陽間計画段階評価対象区間の第1回アンケート調査後の検討は。

答 (企画政策課長) 第1回九州地方小委員会が開催され、意見聴取が行われた。この内容を受け、第2回九州地方小委員会が開催される予定。ここで地域からの意見内容の確認、今後の政策目標等が設定され、その後、住民と沿線自治体から、再度意見が聴取される。その後、第3回九州地方小委員会を経て、対応方針、概略ルート、構造等が決定される予定である。

問 道の駅通潤橋を矢部インター出口付近に移設する計画があるが、その整備内容は。

答 (山の都創造課長) 矢部インター付近の道の駅計画は、まだ移転か新規設置かの決定をしていない。道の駅は、十分な容量の24時間対応の駐車場、清潔なトイレ、授乳やおむ

つ交換ができるスペース、道路情報・地域情報の案内所、休憩所等になっており、どんなコンセプトで、どういう機能を持った道の駅にするのか、計画策定の受託事業者と協議を進めている。本年度中に基本計画の策定を終了し、令和2年度に、基本設計、実施設計、令和3年度に工事着手、年度内の完了を予定している。

問 清和地区の方々から、清和地区にインターを希望する要望書が提出されているが、

その後、住民と沿線自治体から、再度意見が聴取される。その後、第3回九州地方小委員会を経て、対応方針、概略ルート、構造等が決定される予定である。

問 道の駅通潤橋を矢部インター出口付近に移設する計画があるが、その整備内容は。

を準備している。本年度中に基本計画の策定を終了し、令和2年度に、基本設計、実施設計、令和3年度に工事着手、年度内の完了を予定している。



着々と進む矢部インターチェンジの工事

他の質問はこちらの動画からご確認ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

エスディージーズ “SDGs”って何だろう？



～山都町はどう動く？～

最近、様々な場面でSDGsの目標アイコンを見かけるようになってきました。みなさんは、SDGsについて、どのくらい認識されているでしょうか？「横文字は苦手・・・」「国連が採択したところで、自分が何をするのか？」「私は意識して生活していません。」等々、反応は様々でしょう。山都町もSDGsへの取り組みを進めています、その内容を、梅田町長に伺ってみました。

SDGs: Sustainable Development Goals (サステナブル デベロップメント ゴールズ)

日本語訳は「持続可能な開発目標」
2030年までに、先進国も途上国も、国も企業もNPOも個人も、あらゆる垣根を越えて協力し、より良い未来をつくろうと国連で決まった17個の目標のこと。法的な義務を持つ取り決めではなく、自主的な取り組みを促す目安であり、貧困からの脱出など、「誰も置き去りにしない世界をつくる」という概念を持つ。

町長に聞く

「SDGsに対してどのようにお考えでしょうか？」

町長「貧困と飢餓、森林保全と海洋保全など、17の目標は全て繋がっている。社会を形成する人の生活、産業、その土台となる自然環境、これらをお互いに犠牲にすることなく持続させていこうとする目標だと捉えており、人間社会の持続には必要な目標だと思う。」

「SDGsは地方創生を後押しするとし、政府は、これを地方創生の柱としています。」

町長「確かに、所得の向上や教育政策、福祉の充実、産業育成や経済成長など、地方創生として取り組むべき課題はSDGsと直結している。また、SDGs未来都市の選定を受けると、SDGsの様々な取組に政府の支援が受けられる。それ自体が目的ではないが、受けられるものは受けていきたい。」

「財政に有利に働く側面もあるわけですね。現在の取り組みと、今後の方針は」

町長「山都町のこれまでの、そしてこれからの政策はSDGsにオーバラップするものばかり。最近話題となっている茅葺屋根は、屋根そのものだけでなく、茅場の運営もSDGsだと言われていて、山都町にもゆかり深い。循環型の農業も昔から行われてきているし、それらを支えようとする事業もSDGsと言える。現在、SDGs未来都市の申請に向けて、準備を進めており、今後は、各課から二つ以上、SDGs事業を出してもらい、具体的な推進につなげたい。」

町の取り組み

- ① 山都町民への周知
昨年6月の『広報やまと』から連載でSDGsについて解説。
- ② 役場職員の理解推進
研修会を定期的に開催。
- ③ 自治体SDGsの理念に則った政策の立案
今年度中を目標に計画を策定中。
- ④ SDGs未来都市
今年度中の申請を予定。

政府の動き

平成28年から具体的なアクションに向けた検討を進め、平成30年から年次でアクションプランを策定している。

令和2年からの10年を「行動の10年」として、展開を加速させる。また、SDGs達成を目指す事は地方創生を後押しするとして、自治体に対し積極的な取り組みを促す。



SDGsアクション・プラットフォームのHP



SDGsアクションプラン2020



山都町議会視察研修報告

十月三日、四日の日程で、兵庫県佐用町の行政視察研修をしました。山都町と似通った条件の中で、それぞれの地域に合った課題解決に向けて取り組まれていました。

学び①
交通支援のバリエーションが豊富

【公共交通利用の支援】
(町運営)

コミュニティバス定期路線、2経路の運営

(社協運営)

病院や買い物など外出の支援事業
「さよさよサービス」

利用券 一冊四千元(十枚綴り)
子ども・要介護者・高齢者は半額
一回の利用に二枚の使用

町内の乗降に適用
前日三時までに電話予約
地域別に隔日運行

「江川ふれあい号」

江川ふれあい号は、地域づくり協議会(自治振興区)の地域交通部会が江川地区住民を対象に運営しています。自宅から目的地ま

で、二日四往復で基本的に佐用町内の運行に限られます。利用券 一冊三千元(十枚綴り) 子どもは半額

利用の二時間前までに電話で予約。「さよさよサービス」「江川ふれあい号」は、十人乗りの小型車両で、町民のニーズに合った働きが可能となっています。

その他、高齢者や要介護者のために、タクシー運賃の補助、福祉車両の貸し出し、入退院の移送支援があります。



学び②
廃校舎の利活用がすごい！

【廃校舎の利活用への取り組み】

廃校舎の利活用については、十年間土地建物の無償貸し付けが功を奏して、民間の利活用が進んでいます。佐用町は、中国自動車道のICがあり、在来線もあることから、都市部との交流がしやすいのがメリットのようです。
《廃校舎の利用例》

【佐用町の概要】

兵庫県西部にあり、岡山県境に位置する。

人口 16,639人(令和元年10月現在)

面積 307.44km²

平成17年、4町が合併して佐用町となる。地域づくりは、本町の「自治振興区」制度と同様の「地域づくり協議会」が旧小学校区単位で設置され、住民自治が進められている。

「次世代型農業プラント(トマト栽培)」「佐用日本語学校(外国人労働者対象)」「サービス付き高齢者住宅」の民間利用の他、地域づくり協議会が運営する「やまのいえ幕山(喫茶、レストラン等)」などの活用例が紹介されました。佐用町も本町も、地域づくりの形は似ています。合併して十五年、町のあり方を練り直す時期に来ていることを再認識する視察研修となりました。

【11月20日 視察研修の受け入れ】

福岡県みやこ町から、広報委員会へ視察研修をして頂きました。

山都町議会が発行している「議会だより」を目にとめて頂き、一般質問から見える町の取り組みや、広報を作る際の配慮(写真の承諾等)、レイアウトの工夫、記事に合わせる写真の選び方など、多岐に渡るご質問を頂き、当委員会にとっても大変刺激を頂いた研修となりました。今後の紙面作りに活かして参ります。

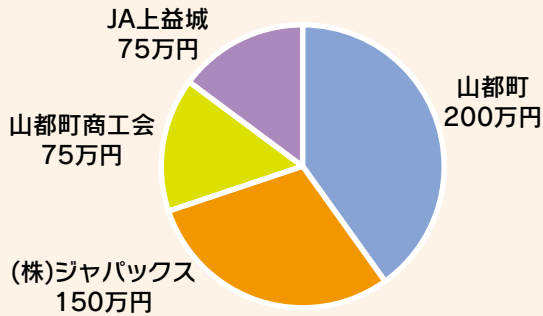
秋の議員研修スケジュール	10月 1日	熊本県町村議会議員研修 講師：片山善博氏(元総務大臣) 「地方議会のあり方」
	10月3、4日	山都町議会行政視察研修 視察先：兵庫県佐用町
	11月 8日	上益城郡町議会議員研修 講師：齋藤健二郎氏 (国府高校硬式野球部監督) 「人間力を身につける」
	11月21日	熊本県町村議会広報研修会

条例の制定/一部改正/町道認定

【地方自治法施行令152条、法人を定める条例の制定】

法令により経営状況の報告を義務付けられている第三セクター等について、その出資比率の基準を50%から25%に引き下げるものです。第三セクター(有)虹の通潤館に、(株)ジャパックスからの出資があり、町の出資比率が下がったため。

(有)虹の通潤館出資額



【成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整理】

成年被後見人であることを理由に不当に差別されないよう、成年被後見人等を欠格条項としている制度において、心身の故障等の状況を個別的、実質的に審査し、必要な能力を判断する規定へと改めます。

【印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正】

女性活躍推進のため、住民票、個人番号カード等への旧氏の記載が可能となることに伴い、旧氏による印鑑登録ができるようになります。

【町道認定】

山都町分譲地「山都テラス」内の2路線を町道に認定しました。

※山都町では、町中心部に整備した住宅用地「山都テラス」を分譲しています。残り3区画です。申し込み順に決定しますので、希望される方はお早めに。

問合せ先:山の都創造課
☎72-1158



次の定例会は、3月の予定です。傍聴にお越しく下さい。

※詳しい日程等については、議会事務局までお問い合わせください。(☎72-1289)



本誌で掲載していない12月定例会の議案と議決結果は、山都町HPに掲載してあります。



議長	工藤 文範
副議長	真原 誠
委員	吉川 美加
委員	中村 五彦
委員	興梠 誠
副委員長	後藤 壽廣
議長	後藤 壽廣

「議会だより山都」第34号の訂正とお詫び

「議会だより山都」第34号に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

■ 2ページ
令和元年度一般会計補正予算(第3号)
【農政費】・地域営農組織ステッパアップ支援事業
補助金 77万円

(誤) 77万円 → (正) 7万円

令和元年第四回定例会の議会だよりです。平成から令和になり、国際社会の緊張感が続いていることに懸念を抱いているところです。山都町も課題山積であり、十年先を見据えたまちづくりが必要不可欠であります。行政・議会・町民が一体となり進めていきたいと思います。

令和二年は、悲しい事件が無くなることを願うとともに、平穏な年でありたいものです。(興梠 誠)

編集後記